



# NPO法人ジャパンデンタルミッション

## 海外活動報告書

【場所】 フィリピン共和国・カオハガン島

【期間】 2008年02月09日～02月13日

【参加メンバー】

歯科医師 平田 敏彦、沢田 宗久、上崎 秀美、矢尾 まりこ、山内 聖恵、村田 澄子

歯科衛生士 寺島 聡子、倉橋 朋子、倉橋 寿会、大西 富子

ボランティア 筒井 文子、沖 まどか、藤原 直樹



### (活動内容)

#### 2月9日(土曜日)

7時30分に関西空港に集合。マニラでは飛行機が1時間遅れで出発するなどのトラブルがあったが、無事にセブに到着。カオハガン島へは、セブ島から船で1時間。

着いた時には、真っ暗。その上、スコールが…。雨が止み、夕食の後ミーティング  
明日の予定の確認。

## 2月10日(日曜日)

9時、診療を開始。島民だけでなく、近くの島々から続々と人が集まる。

教会には、受付・検診・治療のスペースが設けられ、今年は新しい治療用の椅子が作成されており、スムーズに治療が進んでいた。天候は曇りだったため、風通しもよく快適である。受付では、現地のエマさんが手伝ってくださり、検診では、チナさんが通訳として活躍してくださり、大変スムーズにすすむ。

たくさんの患者さんに、はじめは戸惑う事もあったが、徐々にそれぞれが持ち場で仕事をこなしていく。14時から診療を再開し、17時に診療を終了。

1日目の診療の結果から、島民の予防医学に対する関心が窺え、虫歯のない状態を目指すJDMの長年の努力の成果を実感する。



## 2月11日(月曜日)

9時、診療を開始。同時に、小学校では Dr 矢尾、Dr 村田、DH 大西、Vo 筒井、Vo 藤原が学校検診を行う。一般の患者数は昨日の半分以下であったが、島民と小学校の生徒の治療のため、診療所はごった返す。また午前中、Dr 沢田は、セブ島の市長のもとに表敬訪問をする。ドクターが昨日より少なかったこともあり、なかなか稼働率はあがらなかった。

14時、診療再開。着々と治療が進み、小学生と一般の患者の治療を無事終えた。

診療後、Dr 平田・Dr 沢田・DH 大西と小学校の先生とのミーティングがあり、学校側はJDMの考えに理解協力の意思を示す。

2日目の診療結果からは、大人と子どもの人数と抜歯の量と割合から、歯を大切にする事に対する意識の差を感じられる。



## 2月12日(火曜日)

午前中は Dr 沢田・Vo 筒井・Vo 藤原・Vo 沖が小学校へ、歯ブラシ・鉛筆・画用紙を寄付しに行く。生徒それぞれが嬉しそうにお礼を述べていた。診療所では、患者数が一人であったが、終了後片づけに取り掛かる。教会の椅子並べでは、島の子どもたちも手伝ってくれた。午後は、ブラッシング指導。クラスごとに順番に、練習・赤染め・ブラッシング、そして海へ口を濯ぎに行く。ブラッシングが終わった後の子どもたちの顔は大変すがすがしい。



15 時より島民全体参加の運動会と学校検診で選出した 9 人の歯の健康優良児の表彰式。運動会の種目は、色別リレー・お玉リレー・二人三脚・玉入れ・綱引き。大変な悪天候にもかかわらず、びしょ濡れになりながらも子どもたちは色別に応援歌を作り、チーム一丸となっていた。大人も二人三脚や綱引きで、大変盛り上がった。JDM チームもリレーや二人三脚に参加し奮闘した。が、結果は...。夜、夕食の前に子どもたちが現れ、歌と絵のプレゼントをもらい、また Dr 沢田から歌のプレゼントのお返して感動の別れを果たす。

反省会では、それぞれの JDM での活動・島の人々に対する熱い想いを感じられた。



## 2月13日(水曜日)

早朝、島の子どもたちや島民の方々、そして島に残る Vo 藤原さんに見送られ、島を出る。

朝食を取ったセブでは、物乞いと遭いに衝撃を受けた。19時、無事日本に到着する。

それぞれに感想を述べ、解散する。

### <今回のリーダーから一言>

今回はセブーカオハガンの航路で、雨と波しぶきに悩まされたこと以外は、通関などのトラブルもなく所定の活動をすべてこなし全員無事に帰国しました。

初参加の若い3名の歯科医師は、私の予想以上に治療をこなしていただき、かなり楽をさせていただきました。この経験を今後の医療に役立ててください。再度の参加を期待しております。

歯科衛生士の方々は、いつものことながら八面六臂の活躍で、準備や跡片付けでは邪魔をしないようにするだけでした。特にブラッシング指導や子供たちとの触れあいにはいつも感心しています。

ボランティアの方々は受付や診療の補助と、最後の運動会で大活躍してもらいました。色別の鉢巻やバトンを用意して、チーム別けたので運行がかなり楽になりました。

歯科技工士の参加がなくて、義歯の作製ができず修理などしかできなかったのが残念でした。

歯の健康な子供の表彰は、対象を変えて今後も続けたいと思います。

運動会も島民にとっての楽しいイベントとして定着してきました。雨模様でしたが大人も子供も積極的に参加し、急遽大人のリレーや綱引きをすることになりました。

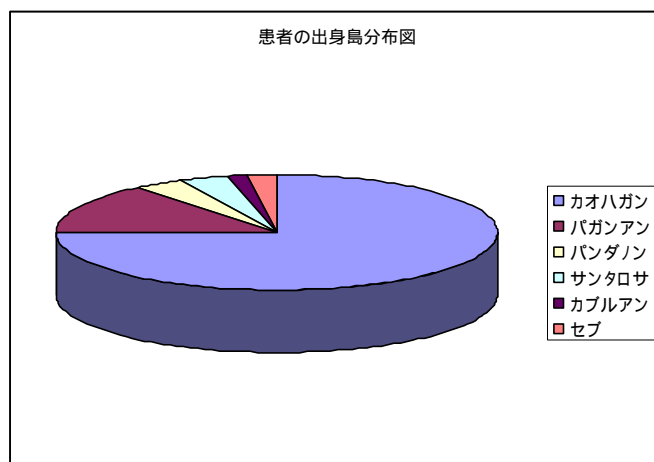
リーダーとして頼りない所をカバーしていただき、参加者全員に感謝しています。

平田敏彦

## 《データ》

### 治療結果

	2月10日	2月11日	2月12日	合計
抜歯	60本	98本	1本	159本
充填	82本	211本	0本	307本
デンチャー調整など	4床	3床	0床	7床
スケーリング	12人	14人	0人	26人
その他	1	7	0	8
患者数合計	50人	89人	1人	139人



出身島	人数
カオハガン	104人
バガンアン	20人
パンダノン	5人
サンタロサ	5人
カブルアン	2人
セブ	3人